

H28 年度中期標準化戦略

部門名	プラットフォーム	担当専門委員会	セキュリティ専門委員会	SWG 名	-
活動名	情報通信セキュリティに関すること				
重点的取組活動と達成目標	<p>① IoT に対するセキュリティ・プライバシー対策が注目される中で、oneM2M や新設された SG20 等との活動に即した対応ができることを目的として、oneM2M 専門委員会、IoT/SC&C アドホック、SmartCar-SWG 等と連携してセキュリティ分野の今後の進め方について確立し、セキュリティ専門委員会の活動に反映する。</p> <p>② 日本が主導的に貢献してきた ITU-T 勧告 X.1051 (通信事業者向けの情報セキュリティマネジメントガイドライン) の改訂版の勧告化を受け、本勧告を活用する新たなセキュリティ管理フレームワークに関する勧告案作成のための新規ワークアイテム設立を目指す。</p> <p>③ これまで日本が貢献してきたサイバーセキュリティ、ID 管理、モバイルセキュリティ、ITS/IoT セキュリティについては、引き続き積極的に貢献する。SDN セキュリティ、ITS セキュリティ等他委員会との連携が必要な分野は、合同の専門委員会の開催も考慮する。</p>				
他標準化団体の動向	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T SG17 の 2017～2020 年会期の体制については、2016 年 4 月の SG17 会合で議論が行われ、TSAG での議論を経て 10～11 月に開催される WTSA で決定される予定である。 今会期については、日本から SG17 副議長、WP1 議長、課題 3、課題 4 ラポータ、課題 6、課題 10 のアソシエイトラポータを担当して、各課題の議論をリードしてきた。また、ITS 通信セキュリティ、IoT セキュリティに関しては、日本からの寄書によりワークアイテムが設立されて議論が行われてきた。 				
日本における状況 (技術動向、市場動向、 標準化の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> M2M/IoT に関する通信基盤やデバイスの発展、および、oneM2M 等の標準化活動による仕様リリース、SG20 の設立等により、M2M/IoT 分野の発展が期待されている中で、セキュリティ・プライバシーの対策が求められている。また、ITS や車のデバイスに対するセキュリティ確保が重要な課題となっており、通信のセキュリティ対策、および、通信を活用したセキュリティ対策の検討が進められている。 2020 年の東京オリンピックを控え、日本国内では政府も含めたサイバーセキュリティ対策の取り組みが進められてる。また、Telecom-ISAC も活動を拡張する形で ITC-ISAC への移行が計画されている。このような背景により事業者間での情報交換や、事業者が連携したサイバー攻撃対策が課題となっている。 				
TTC の標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T SG17 の活動において、特に、セキュリティマネジメント、サイバーセキュリティ(CYBEX)、迷惑メール対策、スマートフォン利用での安全性向上、ITS 通信セキュリティ、IoT/M2M セキュリティ、テレバイオメトリクス、ID 管理の活動に対して寄書等により貢献を行う。 CJK セキュリティ WG での活動を通じて、検討中の案件の調整や新規案件の対応について協議を行い、アジア関係諸国と連携した標準化の取り組みを進める。 M2M/IoT/ITS に関わるセキュリティについては、oneM2M 専門委員会、IoT/SC&C アドホック、マルチメディア応用専門委員会、SmartCar-SWG 等と連携し、今後の方針や取り組み内容を決定して実行する。 				

活動計画	H28	H29	H30以降	ドキュメント区分	記事
● 標準化活動				J	X.1051 (Information security management guidelines for telecommunications organizations based on ISO/IEC 27002)の標準化を検討する。また、会員の要望に応じて対象案件を検討する。
● アップストリーム					
● 調査・研究					SG17 全体会合(■)
・ 標準化・技術動向調査	■	■	■		

凡例：▼ドキュメント制定(標準:J、仕様書:TS、技術レポート:TR、調査報告書:SR)